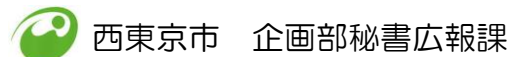


令和2年5月21日

報道各社各位



中学校学習等サポーターの拡充 ～学習環境充実のための取り組み～

新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、学校が長期休業となっていることから、中学校生活への順応や、進路に向けた学習の遅れに不安をもつ中学生を支援するため、地域人材を活用した学習環境の充実を図ります。

1 事業の概要

地域人材を活用する。

- (1) 授業に指導補助者として活用【中学3年生】
- (2) 学級が落ち着き、学習に集中できるよう補助者を活用【中学1、2年生】

2 予算額

7,685 千円

3 予想される成果

- (1) 中学1、2年生の落ち着いた学級生活の支援
教科ごとに教員が変わる新しい学習形態や、複数の小学校から入学してくる人間関係への不安から、登校することを渋ったり適応するのに時間がかかるいわゆる「中1ギャップ」を解消するため、教員以外に授業中や休み時間に質問しやすい環境を整えることができる。また、中学2年生の必要な学級を支援する。
- (2) 中学3年生の学習の定着
義務教育の修了と高校受験を控え、長期休業により学習の定着に個人差が広がっているのではないかと不安に対し、授業中に補助者が生徒を支援することで、分からないことを教員以外にすぐに質問できる環境を整えることができる。

【問い合わせ先】 教育部 教育指導課（TEL：042-420-2827）

資料のポイント

- 令和2年度中に配置
- 教員以外にも、質問や相談のできる大人が授業中や休み時間に教室にいて、生徒の安心につながります。